

幅広い炎上対策ニーズに対応した 「AI 炎上チェッカー Ver2.0」を新たに公開 ～PC 環境でのリスクチェックや発信者の属性に即したカスタマイズ機能を搭載～

弁護士ドットコム株式会社（東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO・弁護士：元榮 太一郎、以下当社）は、SNS などへの投稿前に炎上リスクを生成 AI でチェックする「AI 炎上チェッカー」の最新版「AI 炎上チェッカー Ver2.0」を 2025 年 8 月 28 日に公開しました。

今回のアップデートでは、従来のスマートフォンアプリに加え PC 環境でも利用できる Web 版を新たに提供し、企業担当者の業務フローに即した活用を可能にしました。さらに、発信者の立場や職業に応じてリスク分析を行う「カスタマイズ機能」を搭載し、より炎上主体の状況に即したチェックが可能となっています。

あわせて、企業・行政・政治家事務所など組織的なリスク管理を必要とする利用者に向け、法人版「AI 炎上チェッカー for Biz（仮）」のトライアル利用募集も開始いたします。



失言ひとつで人生終わる前に。

AI 炎上チェッカー Ver 2.0

WEB版提供スタート

カスタマイズ機能の実装

ネットで傷つく人、
傷つける人を
少しでも減らしたい。

弁護士ドットコム

AI 炎上チェッカー

AI 炎上チェッカーごときで炎上防げるわけなし。

攻撃性 🔥🔥🔥🔥
投稿には攻撃的な表現が多数含まれており、特定の個人に対して侮蔑的な言葉を使用しています。感情的な反応を引き起こす要素が強く、他者を傷める表現が目立ちます。

差別性 🔥🔥🔥🔥
特定の人々（大学中退者など）を一括りにして批判しているため、無意識の偏見を含むと解釈される可能性があります。特定のグループを不快にさせるリスクがあります。

誤解を招く表現 🔥🔥🔥🔥
曖昧な表現は少ないものの、基地において個人の知識や意見が無価値であるという主張は誤解を招く可能性がある。それにより、異なる背景を持つ意見を一切無視する印象を与えかねません。

弁護士ドットコム

■提供背景

SNS での発信が一般化する中、ひとつの投稿が誤解や炎上を招き、企業や個人のレピュテーションリスクにつながるケースが増えています。特に立場や影響力のある発信者にとっては、社会的責任を伴う発信に対するリスク評価の重要性が高まっています。こうした背景から開発されたのが「AI 炎上チェッカー」です。2025 年 4 月に実施したクロズド β テストでは、企業広報、行政機関、政治関係者、インフルエンサーなど多様な発信者から反響がありました。

ご利用いただいた方の中でも特に多かったのが、PC 環境で使える Web 版の要望と、「誰が発信するか」に応じたリスク評価の必要性です。今回、それらに応えるかたちで Web 版の提供と属性別炎上リスク分析機能を「AI 炎上チェッカー Ver2.0」としてリリースしました。さらに、組織単位でのリスク管理を求める声に対応し、法人利用を想定した「AI 炎上チェッカー for Biz（仮）」のトライアルも開始します。

■「AI 炎上チェッカー Ver2.0」概要

〈企業の業務フローに即した「AI 炎上チェッカーWeb 版」が登場〉

従来はスマートフォンアプリでのみ提供していた「AI 炎上チェッカー」が、PC 環境で利用できる Web 版として新たに登場しました。企業広報・自治体担当者・政治家など、「PC で投稿文を作成し、SNS に発信する」業務フローに対応したいというクロズド β テスト参加者からの強い要望を受け、正式に Web 版をリリースしました。Web 版でも、アプリ版と同様に「攻撃性」「差別性」「誤解を招く表現」の 3 軸からリスクを可視化し、そのまま SNS への投稿にも対応しています。

URL：<https://app.safety-checker.bengo4.com/>

〈職業や立場ごとに炎上リスクを分析できる「カスタマイズ機能」〉

発言者の立場や職業、SNS フォロワー数によって、同じ言葉でも炎上リスクは大きく異なります。今回のアップデートでは、自分が「政治家」「企業広報」「インフルエンサー」「一般人」など、どのような属性で発信するかのルールを設定することで、より精度の高いリスクチェックを可能にします。



弁護士ドットコム

■「AI 炎上チェッカー for Biz（仮）」トライアル利用 参加企業・団体募集概要

SNS をはじめとする対外発信が組織活動に不可欠となる一方で、現場では複数部門での確認が必要となり、タイムリーな発信ができない、チェック工数が膨大になる、判断が属人化してしまうといった課題が指摘されています。さらに、企業や団体によっては複数の SNS アカウントが散在し、全体として統制が取りにくい現状もあります。

こうした課題に対応するため、当社では組織としての SNS 炎上対策に特化した法人向けツール「AI 炎上チェッカー for Biz（仮）」の開発を進めており、このたびトライアル利用を募集開始しました。

本サービスでは、投稿文だけでなく添付画像や URL リンク先の内容との整合性や法的リスクの有無まで包括的にチェックすることが可能になります。さらに、組織独自のガイドラインを自動適用し、承認フローを仕組み化することで、「投稿前に即座にリスクを可視化しつつ、安心してタイムリーに発信できる」環境を提供します。

●募集開始日

2025 年 8 月 28 日（木）

※定員に達し次第締切

●募集する企業団体

ブランド・サービス・タレントなど、複数の SNS 運用管理を行う企業・団体の担当者/担当部署

- ・タレント事務所
 - ・大規模商業施設の運営会社
 - ・一般消費者向けメーカー
 - ・出版社・メディア企業
 - ・観光地・自治体
- （業種不問）

●お問い合わせ先

トライアル利用に参加いただける方はサービスサイト内コンタクトフォームまでご連絡ください。

URL：<https://safety-checker.bengo4.com/#contact>

※お申し込み後、担当者よりご連絡し、ヒアリングシートのご提出と 1 時間程度の事前打ち合わせをお願いいたしますのであらかじめご了承ください。

※トライアルの期間は 1 ヶ月～2 ヶ月を予定しております。

■AI 炎上チェッカーとは

「AI 炎上チェッカー」とは、自身が SNS をはじめとしたインターネットサービスに投稿する前に、自身の投稿内容の誹謗中傷性や炎上リスクを生成 AI によりチェックすることができる、炎上リスクチェックツールです。投稿内容は「攻撃性」「差別性」「誤解を招く表現」の 3 つ

弁護士ドットコム

の観点から評価され、自身の投稿内容のリスクをチェックします。さらにアプリ内から各種 SNS ヘシームレスに連携し、安全性が確認できた文章はそのまま SNS へ投稿も可能となります。なお本ツールは、「発信を制限する」のではなく、「より良い発信のための選択肢を提示する」ことに主眼を置き、多様な価値観に配慮した設計を重視しています。

<動画 URL> : [【弁護士ドットコム】 AI 炎上チェッカー](#)

■弁護士ドットコムについて <https://corporate.bengo4.com/>

本社	東京都港区六本木四丁目 1 番 4 号 黒崎ビル
設立日	2005 年 7 月 4 日
資本金	545 百万円 (2025 年 6 月現在)
代表者	代表取締役社長 兼 CEO・弁護士 元榮 太一郎
上場市場	東京証券取引所グロース市場
事業内容	「プロフェッショナル・テックで、次の常識をつくる。」をミッションとして、人々と専門家をつなぐポータルサイト「弁護士ドットコム」「税理士ドットコム」「BUSINESS LAWYERS」、契約マネジメントプラットフォーム「クラウドサイン」を提供。
URL	https://www.bengo4.com/corporate/

本件におけるお問合せ先

弁護士ドットコム株式会社 広報担当

所在地 | 〒106-0032 東京都港区六本木四丁目 1 番 4 号

T E L | 03-5549-2854

F A X | 03-5549-2565

E-Mail | info-press@bengo4.com